



子育て情報 7月号

平成28年 7月
相山女学園大学附属幼稚園

夏休みで一回り大きく育つ子ども達

園長 横尾 尚子

佐藤敏郎先生の「防災」に関する講演会(6月20日)では、小さな命を守るためのたくさんの気づきと心構え、そして心揺さぶられる学びを得ることができました。中でも、「3.11を自分ゴトにする」危機感を常に持ち続けること、「防災は『ただいま』を聞くこと」の一文を深く心に刻みました。「いってきます」と家を出た(保護者の手を離れた)お子さんを、「ただいま」と家に帰す(保護者の手に戻す)。その何気ない日常を守り続けること。それが幼稚園が行うべき防災なのだと思います。そのために、幼稚園として何ができるのか、何をしなければならないのか。保育園とも連携しながら、全職員で考え、実践してまいります。ご家庭とも力を合わせ、大切な子ども達の命を守りたいと切に願っています。

7月が始まりました。7月と言えば、七夕に、年長さんの夕涼み会。今年の七夕の短冊に、お子さんはどのような願いを託されたでしょうか? 夜が明るすぎる名古屋では、天の川を見ることは叶いませんが、子ども達の願い事はどうか叶いますように。

年長さんの夕涼み会では、浴衣姿も可愛い子ども達が、毎年力のこもった「竹打ち」を披露してくれます。腰の高さに固定した1本の長く太い竹を、7・8人の子ども達で打ち鳴らす「竹打ち」は、実は附属幼稚園のオリジナルだそうです。1本の竹に8つの心、クラスでは4本の竹に30の心。その心がピタリと揃った時、夏の夜空を突き抜ける力強くも爽やかな竹のリズムが鳴り響きます。3クラスそれぞれの「心合わせの竹打ち」。今年はどんな音色が響くことでしょうか。楽しみです。その後に繰り広げられる花火の美しさも見逃せません。

そして、それらの行事が終わると、夏休みがやってきます。夏休みは、園生活を中心とした日常から解放され、さまざまな活動を体験できる好機です。親子で過ごす時間が長い分、思い出も多いように思います。

我が家の夏休みの思い出で、一番に思い出されるのは、学童のキャンプです。上の娘も下の娘も、それぞれ小学生の6年間、放課後は学童保育所で過ごしました。その学童保育所の夏一番のイベントが、2泊3日の学童キャンプでした。下の娘は、姉と一緒に保育園年少さんから参加していましたから、キャンプ9年のベテラン選手に育ちました。キャンプ場は、南信州豊丘村の野田平(のたのひら)キャンプ場が定番でした。野田平キャンプ場は、蛇川の最上流部、森と清流に囲まれた大自然の中にありました。廃校になった旧分校校舎を利用した木造の宿泊棟は、昔の教室そのまま。タイムスリップしたようでした。携帯電話は圏外です。たった一つの公衆電話に、10円玉を握りしめて並ぶことも。お茶いっぱい飲むのにも、U字抗をかまどにして火を熾すことから始めなければなりません。大きなヤカンたっぷりの水が湧いたら、麦茶パックを5つ放り込んで。その重いヤカンを川まで運んで冷やす。そうしてやっと、冷たい麦茶が飲めるのです。不便だけど、手をかけることで味わえる喜び。麦茶一杯が、これほどおいしいと思えるのも、キャンプならではの楽しみでした。食材の調達から、日に三回の食事の準備。それらはすべて、父親・母親・子ども達の共同作業です。いつもは見ることのないお母さん達の包丁裁きに、二人の娘は感嘆し、私の不ぞろいな薄切りレモンをうらめしそうに眺めていました。でも、キャンプの立役者は、やはりお父さん達です。川で一緒に泳いでくれたり、川の中に岩を積んで「魚つかみ(近くで買ってきた川魚を子ども達が手で捕まえる)」の場所を作ってくれたり。新九郎の滝までの30分ほどの遊歩道には、沢渡りあり、崖登りありの難所が盛りだくさん。子どもどころか母親も躊躇していると、お父さん達が「ここに足を置いて」と声をかけてくれたり、ヒョイヒョイと抱えて渡してくれたり。なかなか見ることのない父親の逞しさ・強さに、子ども達はもちろん、母親達も拍手でした。キャンプは、父親の魅力全開のお勧め企画です。そして子ども達は、自然の中でのびのびと“生”を謳歌し、一回り大きく成長していきました。

キャンプに限らず、ゆったりとした時間の中で、さまざまな事象や人とのかかわりを経験することで、夏休み明けの子ども達は一回り大きくなったように思えます。夏野菜のようにすくすくと、暑さに負けず大きく育ってほしいですね。その夏休みを迎えるにあたって、一つお願いがあります。生活リズムを大事にしてください。幼稚園へ行かなくてもいいという気楽さから、ついつい夜更かし、朝寝坊になりがちな夏休み。通常の登園日であれば、幼稚園で過ごす時間と過程で過ごす時間の流れやバランスが捉えられやすく、生活リズムは身につけやすいのですが、夏休みの間はどうしても崩れがちになってしまいます。「早寝、早起き、朝ごはん」の励行で、夏休みをたっぷり楽しみ、二期には益々元気な笑顔を見せてください。